

本 会 記 事

I. 平成26年度第2回評議員会議事録

日 時：平成27年3月29日（土）14:00～17:00

場 所：明治大学リバティータワー（千代田区神田駿河台1-1）

出席者：相野公孝，秋光和也，阿久津克己，青木孝之，

濱本 宏，曳地康史，平塚和之，平八重一之，百町満朗，一瀬勇規，岩井 久，景山幸二，金山晋治，川北一人，北 宜裕，児玉基一朗，近藤則夫，久保康之，桑田 茂，増田 税，森田健二，中島 隆，難波成任，夏秋啓子，夏秋知英，根岸寛光，西口正通，大木 理，大島一里，奥野哲郎，佐野輝男，高橋英樹，高橋賢司，瀧川雄一，田代暢哉，富岡啓介，土佐幸雄，津田新哉，柘植尚志，月星隆雄，對馬誠也，渡邊 健，吉川信幸，土屋健一会長，寺岡 徹副会長，有江 力庶務幹事長，宇垣正志庶務副幹事長

以上評議員47名（定員56名，欠席者：荒瀬 榮，畔上耕児，古屋廣光，廣岡 卓，石黒 潔，松永 礼，高松 進，田中文夫，長谷川裕）

幹事・事務局出席者：奥田 充庶務幹事，大里修一会計幹事，松下陽介庶務幹事，前島健作会計副幹事，松原美穂事務局員，渡辺玲子事務局員

1. 開会の挨拶（土屋会長）

2. 審議事項（議事進行：土屋会長）

（1）平成27年度日本農学進歩賞および日本学術振興会賞推薦候補者の選定

日本農学進歩賞推薦候補者として志村華子氏，日本学術振興会賞推薦候補者として川口章氏とすることが承認された。

（2）平成27年度定期総会資料の検討

1) 平成26年度会務報告

①庶務報告（奥田庶務幹事）

会員数，会員の逝去，学会報発行実績，役員会・委員会開催状況，総会・大会開催状況，部会開催状況，談話会・研究会・教育プログラム等開催状況，名誉及び永年会員の推挙，学会賞，学術奨励賞及び論文賞並びに平成27年度副会長選挙結果について報告した。

②会計報告（大里会計幹事）

一般会計収支，貸借対照表，正味財産増減計算，財産目録について報告した。

③会計監査報告（夏秋啓子会計監査）

会計監査の結果，収支決算が適正であることを報告した。

④学会報編集報告（岩井編集委員長）

和文誌及び英文誌の編集報告を行った。

以上の平成26年度会務報告は一括して承認された。

2) 平成27年度会務案

①行事案（松下庶務幹事）

学会報の発行，大会，部会，談話会及び研究会等の開催，学会賞，学術奨励賞及び論文賞等の選考，名誉及び永年会員の推挙，平成28年度副会長選挙，平成28～29年度評議員・会計監査選挙を行うことが提案された。

②予算案（前島新会計幹事）

会費収入を中心とする事業活動収入並びに会報刊行及び大会等の開催を中心とする事業支出に関する一般会計予算案が提案された。

③学会報編集計画案（岩井編集委員長）

英文誌6報，和文誌4報を，鹿児島大学を編集事務局として発行することが提案された。また，新たに澤田宏之氏を原著編集委員とすることが提案された。

④平成27年度役員および委員（土屋会長）

平成27年度役員および委員について提案された。

以上の，平成26年度会務案，役員および委員は一括して承認された。

3) 総会資料の承認

平成27年度定期総会資料は承認された。

（3）規則等の改正

1) 会則

名誉会員・永年会員の総会の承認・議決事項を明確化するための改正について承認された（対照表をⅡ総会資料に別掲）。

2) 評議員選挙施行細則

評議員選挙を電子投票で行うための改正について承認された（対照表をⅡ総会資料に別掲）。

3) 日本植物病理学会授賞規程

文言の整理などのための改正について承認された。

4) 日本植物病理学会論文賞授賞規程

文言の整理などのための改正について承認された。

5) 日本植物病理学会学生優秀発表賞授賞規定

文言の整理などのための改正について承認された。

（4）平成28年度大会開催場所および日程の承認

平成28年度大会は3月21～23日に岡山コンベンションセンターにおいて開催されることが承認された。

(5) 平成 29 年度大会開催ブロックの確認

平成 29 年度大会開催地は東北ブロックとすることが承認された。

(6) その他

1) 総会資料に名誉会員・永年会員リストを掲載することについて承認された。平成 28 年度定期総会資料から掲載する。

2) 日本植物病名目録の二次利用について日本植物病理学会作成である旨を記載することを条件に認めることが承認された。

3. 報告事項

(1) 学会報編集委員会

学会開催期間中の英文セミナーに積極的に参加していたきたいとの要請があった。

(2) 病名委員会

日本植物病名目録の増改版 (PDF) の発行方針などが報告された。

(3) 100 周年記念式典, 講演, シンポジウム, 祝賀会について

評議員などからのお誘いの結果, 参加申し込み数の増加があったことが報告された。現時点で 472 名の祝賀会の参加であることが報告された。全国農業新聞, 科学新聞, 日経産業新聞に記念大会の事前報道がなされたことが報告された。

(4) 国際化対応委員会

オーストラリア・ニュージーランドとの交流事業として先方より 2 名訪日した。平成 27 年度は日本側から参加す

る予定であることが報告された。

(5) 教育プログラム推進委員会

第 11 回植物病害診断教育プログラムを神戸大学において開催されることが報告された。

(6) 技術士対応委員会

平成 25 年度合格者は 12 名であったことが報告された。

(7) 平成 27 年度日本農学会シンポジウムについて

平成 27 年度日本農学会シンポジウムが 10 月 3 日東京大学にて開催予定であり, 本会会員の對馬誠也氏が講演されることが報告された。

(8) 学会運営マニュアルについて

学会 HP の会員サービスにログインすると評議員などはマニュアルを閲覧できるようになっていることが報告された。

(9) 学会スケジュールのホームページ掲載について

学会 HP のページ上に学会行事等のスケジュールをカレンダー形式で掲載していることが報告された。

(10) 会員のご逝去について

ご逝去された会員について報告された。

(11) 学会誌投稿料等について

幹事会において検討中であることが報告された。

(12) その他

学会大会要旨の電子化等についての提案があったので試算することも検討することとした。

新幹事メンバーについての紹介がなされた。

4. 平成 27 年度大会委員長挨拶 (桑田委員長)

5. 平成 28 年度大会委員長挨拶 (代理: 一瀬評議員)

日本植物病理学会授賞規程の改定

改正後	現行
日本植物病理学会授賞規程	日本植物病理学会授賞規程
1. (変更なし)	1. 会則第 3 条第 3 項に基づき, 日本植物病理学会学会賞および同学術奨励賞を設け, 授賞に関する規程を次のように定める。
2. 日本植物病理学会学会賞は植物病理学上, 顕著な業績を挙げた会員または顕著な功績のあった会員にこれを贈る。(以下, 変更なし)	2. 日本植物病理学会学会賞は植物病理学上, 顕著な業績を挙げた会員または顕著な功績のあった会員にこれを贈る。同学術奨励賞は植物病理学の進歩に寄与する優れた研究をなし, なお, 将来の発展を期待し得る会員 (受賞年 3 月 31 日現在 40 歳未満) にこれを贈る。
3. (変更なし)	3. 前項の業績は発表された論文または著書とする。
4. 授賞者の候補は評議員の推薦による。第 1 次推薦を評議員により行い, 集計の後, 推薦数や推薦者名を付さずにこれを対象として, 第 2 次推薦を評議員により行い, 推薦候補者を決定する。	4. 授賞者の候補は評議員の推薦による。
5. (変更なし)	5. 授賞候補者の第 1 次選定は, 第 4 項の推薦候補者の中から賞選考委員会が行う。

6. 授賞候補者の第2次選定は第5項の第1次選定候補者の中から、 <u>評議員の投票に基づき、評議員会がこれを行い、会長が授賞者を決定する。</u>	6. 授賞候補者の第2次選定は第5項の第1次選定候補者の中から、 <u>評議員会における評議員の投票に基づき、評議員会がこれを行い、会長が決定する。</u>
7. 同一年度の授賞は日本植物病理学会学会賞および同学術奨励賞各3件以内とする。	7. 同一年度の授賞は日本植物病理学会賞および同学術奨励賞各3件以内とする。
8. (変更なし)	8. 賞は賞状および副賞として、定期総会においてこれを贈る。
9. (削除)	9. 日本植物病理学会賞および同学術奨励賞に要する費用は本会の経費と学術奨励基金より充当する。
付 則	付 則
1. この規程は昭和34年3月30日より施行し、一部改正は昭和52年4月5日、昭和57年4月1日、昭和61年4月2日、平成5年4月3日、平成14年4月3日、平成23年3月27日、平成24年3月28日、 <u>平成27年3月27日</u> に行った。	1. この規程は昭和34年3月30日より施行し、一部改正は昭和52年4月5日、昭和57年4月1日、昭和61年4月2日、平成5年4月3日、平成14年4月3日、平成23年3月27日、平成24年3月28日に行った。
2. この規程の一部改正は <u>平成27年3月27日</u> より施行する。	2. この規程の一部改正は平成24年3月28日より施行する。

日本植物病理学会論文賞授賞規程

改正後	現行
日本植物病理学会論文賞授賞規程	日本植物病理学会論文賞授賞規程
1. (変更なし)	1. 会則第3条第3項に基づき、日本植物病理学会論文賞を設け、授賞に関する規程を次のように定める。
2. 日本植物病理学会論文賞は選定の前年発行の Journal of General Plant Pathology および日本植物病理学会報に掲載された Invited paper および短報を含む原著論文（総説は除く）を対象とし、植物病理学の進歩に寄与する優れた論文に対しこれを贈る。なお、同一年度の授賞は両雑誌を通して2件以内とする。	2. 日本植物病理学会論文賞は前年度発行の Journal of General Plant Pathology および日本植物病理学会報に掲載された Invited paper および短報を含む原著論文（総説は除く）を対象とし、植物病理学の進歩に寄与する優れた論文に対しこれを贈る。なお、同一年度の授賞は両雑誌を通して2件以内とする。
3. (変更なし)	3. 授賞候補論文の第1次推薦は、評議員、正副編集委員長および国内原著編集委員により行う。
4. (変更なし)	4. 授賞候補論文の第2次推薦は、第3項で推薦された候補論文の中から評議員、正副編集委員長および国内原著編集委員により行う。
5. 編集委員長は、正副編集委員長および部門別原著編集委員代表（編集委員長が選任する各部門1名の国内委員）から構成される論文賞選考委員会において、第4項で推薦された候補推薦論文の中から2件以内の授賞候補論文を選定し、評議員会へ報告する。なお、報告にあたっては選定理由を付す。	5. 編集委員長は、正副編集委員長および部門別原著編集委員代表（編集委員長が選任する各部門1名の国内委員）から構成される選考委員会において、第4項で推薦された候補論文の中から2件以内の授賞候補論文を選定し、評議員会へ報告する。なお、報告にあたっては選定理由を付す。
6. (変更なし)	6. 授賞論文は、第5項により報告された授賞候補論文につき評議員会の議を経て、会長が決定する。
7. 賞は賞状および副賞各1つとして、定期総会においてこれを代表者（原則として筆頭著者）に贈る。	7. 定期総会において、賞状と副賞の各1つを代表者（原則として筆頭著者）に渡し表彰する。
付 則	付 則
1. この規程は平成13年1月1日より施行し、一部改定は平成14年4月3日、平成21年3月26日、 <u>平成27年3月27日</u> に行った。	1. この規程は平成13年1月1日より施行し、一部改定は平成14年4月3日、平成21年3月26日に行った。
2. この規程の一部改正は <u>平成27年3月27日</u> より施行する。	2. この規程の一部改正は <u>平成21年4月1日</u> より施行する。

日本植物病理学会学生優秀発表賞授賞規程の改定

改正後	現行
日本植物病理学会学生優秀発表賞授賞規程 1. (変更なし) 2. 毎年度実施される日本植物病理学会大会の口頭発表にもとづいて<u>授賞</u>する。 3. 学生優秀発表賞は大会委員長が贈る。 4. 授賞者は、大会委員長により委嘱された<u>学生優秀発表賞選考委員</u>により<u>選定</u>される。 5. 授賞候補者は、学生会員（当該年度の3月31日まで）であり、講演要旨の筆頭著者で、なおかつ実際に講演発表を行った<u>者</u>とする。但し、<u>過去に受賞した者は除く</u>。 付 則 1. この規程は平成18年1月1日より施行し、一部改正は平成23年3月27日、平成24年3月28日、平成27年3月29日に行った。 2. この規程の一部改正は平成27年3月29日より施行する。	日本植物病理学会学生優秀発表賞授賞規程 1. 会則第3条第3項に基づき、学生優秀発表賞を設け、授賞に関する規程を次のように定める。 2. 毎年度実施される日本植物病理学会大会の口頭発表にもとづいて<u>実施</u>する。 3. 学生優秀発表賞は大会委員長が<u>授与</u>する。 4. <u>受賞者</u>は、大会委員長により委嘱された選考委員により<u>選考</u>される。 5. <u>受賞候補者</u>は、学生会員（当該年度の3月31日まで）であり、講演要旨の筆頭著者で、なおかつ実際に講演発表を行った<u>もの</u>を対象とする。但し、<u>すでに表彰を受けた者は除く</u>。 付 則 1. この規程は平成18年1月1日より施行し、一部改正は平成23年3月27日、平成24年3月28日に行った。 2. この規程の一部改正は平成24年3月28日より施行する。

II. 平成27年度定期総会

平成27年3月29日に明治大学駿河台キャンパス（千代田区神田駿河台1-1）において開催された平成27年度定期総会において、以下の定期総会資料の、平成26年度会務報告、平成27年度会務案、会則・規程の改正はすべて承認された。

II-1. 平成26年度会務報告

1. 庶務報告

(1) 会員数 計1,868名（平成27年1月1日現在）

名誉会員	35名
永年会員	67名
正会員	1,288名（内 外国会員22名）
学生会員	230名
学部生会員	8名
準会員	131団体
賛助会員	41社（109口）

(2) 会員のご逝去

田中 寛氏	平成25年
端山重男氏	平成25年 9月 2日
香川 寛氏	平成26年 3月
津野和宣氏	平成26年 4月17日
岡部徳夫氏	平成26年 6月22日
与那覇哲義氏	平成26年 7月16日
山本 淳氏	平成26年 8月
佐久間勉氏	平成26年 9月28日
茂木静夫氏	平成26年12月 9日

(3) 学会報

発行部数 英文誌：第80巻1～6号 各2,000部
(計12,000部)

和文誌：第80巻1～4号、特集号
各2,050部
(計10,250部)

頒布部数 英文誌：国内（1～6号） 各1,671部
(計10,026部)

国外（1～6号） 各83部
(計498部)

計 各1,754部
(計10,524部)

[内 国外交換42／国外寄贈7／名誉会員32／永年会員11／賛助会員63／準会員132（計287）]

和文誌：国内（1～4号、特集号）
各1,786部
(計8,930部)

国外（1～4号、特集号） 各67部
(計335部)

計 各1,853部
(計9,265部)

[内 国内交換5／国内寄贈7／広告主7／名誉会員32／永年会員61／賛助会員63／準会員132（計307）]

(4) 役員会・委員会開催状況

第1回評議員会	平成26年11月29日
第2回評議員会	平成27年 3月27日
幹事会	平成26年 7月 5日

- | | | | |
|---|----------------------------------|----------------------------------|---------------------|
| | 8月30日 | | いわて県民情報交流センター(盛岡市) |
| | 10月4日 | | 参加者:102名, 一般講演:27題, |
| | 11月29日 | | 記念講演:1題 |
| | 平成27年1月24日 | 関東部会 | 平成26年9月11~12日 |
| | 2月21日 | | 宇都宮大学農学部(宇都宮市) |
| | 3月27日 | | 参加者:152名, 一般講演:31題, |
| 編集委員会 | 平成27年3月27日 | | 特別講演:1題 |
| 賞選考委員会 | 平成26年10月4日 | 関西部会 | 平成26年9月27~28日 |
| | 平成27年2月25日(メール会議) | | 富山大学五福キャンパス(富山市) |
| 功績者推薦委員会 | | | 参加者:209名, 一般講演:86題 |
| | 平成26年11月6日(メール会議) | 九州部会 | 平成26年11月12~13日 |
| 選挙管理委員会 | 平成26年11月10日(メール会議) | | ジェイドガーデンパレス・サンプラザ |
| 病名委員会 | 平成26年6月2日 | | 天文館(鹿児島市) |
| 学会ニュース編集委員会 | 平成26年6月3日 | | 参加者:120名, 一般講演:20題, |
| 教育プログラム推進委員会 | 平成26年9月10日 | | 特別講演:1題, シンポジウム講演: |
| | 12月2日 | | 3題 |
| | 平成27年2月26日(以上メール会議) | (8) 談話会・研究会・教育プログラム等開催状況 | |
| 技術士対応委員会 | 平成26年8月6日 | 第14回植物病原菌類談話会 | |
| 5学会技術士育成推進委員会 | 平成26年10月22日 | 平成26年6月4日 | |
| 100周年記念事業実行委員会 | | 札幌コンベンションセンター(札幌市) | |
| | 平成26年10月17日(メール会議) | 参加者:110名, 講演題数:4題, 話題提供:1題 | |
| | 11月29日 | 第13回バイオコントロール研究会 | |
| | 平成27年3月27日 | 平成26年6月5日 北海道大学(札幌市) | |
| 100周年式典等運営委員会 | 平成26年6月3日 | 参加者:106名, 講演題数:9題 | |
| | 9月11日 | 第24回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム | |
| | 平成27年2月14日 | 平成26年6月5日 北海道大学(札幌市) | |
| | 3月27日 | 参加者:139名, 講演題数:4題, 話題提供:2題 | |
| (5) 総会・大会開催状況 | | 平成26年度(第49回)植物感染生理談話会 | |
| 総会 | 平成26年6月2日 | 平成26年8月6~8日 作並温泉(仙台市) | |
| | 札幌コンベンションセンター(札幌市) | 参加者:56名, 講演題数:15題, ポスター発表: | |
| 大会 | 平成26年6月2~4日 | 21題 | |
| | 札幌コンベンションセンター(札幌市) | 第10回植物病害診断教育プログラム | |
| | 参加者:854名, 一般講演:387題 | 平成26年8月25~29日 弘前大学(弘前市) | |
| (6) 学会創立100周年記念式典, 記念講演, 記念シンポジウムおよび祝賀会開催状況 | | 参加者:19名, 講師:13名 | |
| | 平成27年3月28日 | 第27回土壌伝染病談話会 | |
| | 明治大学駿河台キャンパス(千代田区)・東京ドームホテル(文京区) | 平成26年9月24~25日 いわて県民情報交流センター(盛岡市) | |
| (7) 部会開催状況 | | 参加者:72名, 講演題数:12題 | |
| 北海道部会 | 平成26年10月16~17日 | 第8回植物病害診断研究会 | |
| | かでる2.7(札幌市) | 平成26年9月26~27日 富山大学(富山市) | |
| | 参加者:59名, 一般講演:19題, | 参加者:97名, 講演題数:10題 | |
| | 談話会講演:4題 | 第26回植物細菌病談話会 | |
| 東北部会 | 平成26年9月25~26日 | 平成26年10月9~10日 レスパール藤ヶ鳴(岡山市) | |
| | | 参加者:57名, 講演題数:16題 | |

EBC 研究会ワークショップ 2014 (第 10 回)

平成 26 年 10 月 1 日 JA ビル会議室 (千代田区)

参加者: 107 名, 講演題数: 9 題

(9) 名誉会員の推挙

第 1 回評議員会で次の方を推挙することが決定された
(ABC 順).

眞山滋志氏, 露無慎二氏

(10) 永年会員の推挙

第 1 回評議員会で次の方を推挙することが決定された
(ABC 順).

荒井 啓氏, 原田幸雄氏, 倉橋良雄氏, 松本 勤氏, 大
口富三氏, 鳥山重光氏, 植松 勉氏, 山本孝彗氏

(11) 平成 27 年度学会賞

第 1 回評議員会で次の 3 氏に授賞することが決定された
(ABC 順).

景山幸二氏 「卵菌類病原菌の分類学・生態学的研究」

竹中重仁氏 「生物防除微生物 *Pythium oligandrum* の病
害抑制機構解明に関する研究」田代暢哉氏 「EBC の概念に基づいた果樹病害防除技
術の改善に関する研究」

(12) 平成 27 年度学術奨励賞

第 1 回評議員会で次の 3 氏に授賞することが決定された
(ABC 順).

塩谷純一郎氏 「トマト葉面マイクロフロー解析と病害抑

制に関する研究」

今崎伊織氏 「土壌伝染性病原菌の病原性機構に関する
研究」門馬法明氏 「土壌還元消毒機構の解明と実用化技術の
開発」

(13) 平成 27 年度論文賞

第 1 回評議員会で次の 2 件に授賞することが決定された
(掲載順).

Ayaka Fujiwara, Hanako Shimura, Chikara Masuta, Shinsuke
Sano, Tsuyoshi Inukai.

Exogenous ascorbic acid derivatives and dehydroascorbic
acid are effective antiviral agents against *Turnip mosaic
virus* in *Brassica rapa*. Journal of General Plant Pathology
79(3): 198–204 (2013)

Takeshi Kashiwa, Keigo Inami, Masashi Fujinaga, Hideki
Ogiso, Takanobu Yoshida, Tohru Teraoka, Tsutomu Arie.

An avirulence gene homologue in the tomato wilt fungus
Fusarium oxysporum f. sp. *lycopersici* race 1 functions as a
virulence gene in the cabbage yellows fungus *F. oxysporum* f.
sp. *conglutinans*. Journal of General Plant Pathology 79(6):
412–421 (2013)

(14) 平成 27 年度副会長選挙

平成 26 年 10 月施行 (開票は 11 月 8 日), 桑田 茂氏が
選出された.

2. 平成 26 年度会計報告

(1) 一般会計収支計算書（平成 26 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日まで）

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	21,704,000	21,360,276	343,724
正会員会費収入	12,810,000	12,305,000	505,000
学生会員会費収入	1,250,000	1,470,000	△ 220,000
学部生会員会費収入	10,000	7,000	3,000
外国会員会費収入	189,000	198,276	△ 9,276
準会員会費収入	1,995,000	1,980,000	15,000
賛助会員会費収入	5,450,000	5,400,000	50,000
会報刊行収入	8,410,000	8,533,576	△ 123,576
頒布収入	2,750,000	904,768	1,845,232
広告料収入	160,000	214,000	△ 54,000
著者負担金収入	5,500,000	7,414,808	△ 1,914,808
事業収入	15,371,100	16,842,012	△ 1,470,912
大会収入	8,500,000	10,236,225	△ 1,736,225
部会収入	2,959,100	2,322,717	636,383
談話会・研究会収入	3,112,000	3,776,037	△ 664,037
教育プログラム収入	800,000	507,033	292,967
研究成果公開促進費収入	2,500,000	2,500,000	0
雑収入	220,000	159,910	60,090
預金利息収入	40,000	15,510	24,490
雑収入	180,000	144,400	35,600
事業活動収入計	48,205,100	49,395,774	△ 1,190,674
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	21,000,000	21,382,768	△ 382,768
印刷製本費支出	16,000,000	16,225,336	△ 225,336
編集費支出	5,000,000	5,157,432	△ 157,432
事業支出	18,436,071	19,524,053	△ 1,087,982
大会支出	9,500,000	12,026,225	△ 2,526,225
部会支出	3,947,100	2,812,875	1,134,225
談話会・研究会支出	3,688,971	4,234,538	△ 545,567
教育プログラム支出	1,300,000	450,415	849,585
学術奨励関係費支出	1,330,000	745,483	584,517
国際学術交流費支出	300,000	220,507	79,493
情報電子化費支出	1,264,370	1,064,370	200,000
HP 充実費支出	420,000	420,000	0
情報維持費支出	844,370	644,370	200,000
男女共同参画支援費支出	200,000	0	200,000

負担金支出	682, 000	483, 750	198, 250
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
農学会負担金支出	132,000	233,750	△ 101,750
ISPP 負担金支出	300,000	0	300,000
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護学会負担金支出	50,000	50,000	0
植物保護科学連合負担金支出	50,000	50,000	0
事業運営費支出	2, 400, 000	2, 325, 832	74, 168
会議費支出	750,000	778,572	△ 28,572
旅費交通費支出	1,500,000	1,427,460	72,540
各種委員会関係費支出	150,000	119,800	30,200
管理費支出	4, 984, 000	4, 917, 344	66, 656
通信運搬費支出	500,000	472,763	27,237
消耗品費支出	200,000	122,845	77,155
事務管理費支出	3,334,000	3,334,000	0
印刷費支出	300,000	283,440	16,560
外部監査管理費支出	150,000	131,000	19,000
雑支出	500,000	573,296	△ 73,296
100 周年記念事業支援金支出	14, 000, 000	3, 091, 710	10, 908, 290
事業活動支出計	64, 596, 441	53, 755, 817	10, 840, 624
事業活動収支差額	△ 16,391,341	△ 4,360,043	△ 12,031,298
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	12, 600, 000	7, 000, 000	5, 600, 000
学術事業安定基金取崩収入	5,000,000	1,000,000	4,000,000
100 周年記念事業特別基金取崩収入	7,600,000	6,000,000	1,600,000
投資活動収入計	12, 600, 000	7, 000, 000	5, 600, 000
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	12,600,000	7,000,000	5,600,000
III 財務活動収支の部			
当期収支差額	△ 3, 791, 341	2, 639, 957	△ 6, 431, 298
前期繰越収支差額	4, 608, 707	4, 608, 707	0
次期繰越収支差額	817, 366	7, 248, 664	△ 6, 431, 298

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金・未払金、仮払金・前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	11,588,983	14,195,264
未 収 金	1,065,000	1,051,400
仮 払 金	1,000,000	1,000,000
合 計	13,653,983	16,246,664
未 払 金	290,000	0
前 受 金	8,755,276	8,998,000
預 り 金	0	0
合 計	9,045,276	8,998,000
次期繰越収支差額	4,608,707	7,248,664

(2) 貸借対照表 (平成26年12月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,195,264	11,588,983	2,606,281
現金	133,768	65,514	68,254
部会等現金	355,993	106,172	249,821
普通預金	10,018,769	7,719,943	2,298,826
部会等預金	3,381,399	3,239,925	141,474
振替貯金	305,335	457,429	△ 152,094
未収金	1,051,400	1,065,000	△ 13,600
仮払金	1,000,000	1,000,000	0
流動資産合計	16,246,664	13,653,983	2,592,681
2. 固定資産			
特定資産			
学術事業安定化基金	22,021,662	23,021,662	△ 1,000,000
学術奨励基金	17,027,595	17,027,595	0
国際学術交流基金	9,649,267	9,649,267	0
100周年記念事業特別基金	1,600,000	7,600,000	△ 6,000,000
特定資産合計	50,298,524	57,298,524	△ 7,000,000
固定資産合計	50,298,524	57,298,524	△ 7,000,000
資産合計	66,545,188	70,952,507	△ 4,407,319

II 負債の部			
流動負債			
未払金	0	290,000	△ 290,000
前受金	8,998,000	8,755,276	242,724
流動負債合計	8,998,000	9,045,276	△ 47,276
負債合計	8,998,000	9,045,276	△ 47,276
III 正味財産の部			
一般正味財産	57,547,188	61,907,231	△ 4,360,043
正味財産合計	57,547,188	61,907,231	△ 4,360,043
負債及び正味財産合計	66,545,188	70,952,507	△ 4,407,319

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学術事業安定化基金	23,021,662	0	1,000,000	22,021,662
学術奨励基金	17,027,595	0	0	17,027,595
国際学術交流基金	9,649,267	0	0	9,649,267
100周年記念事業特別基金	7,600,000	0	6,000,000	1,600,000
合 計	57,298,524	0	7,000,000	50,298,524

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学術事業安定化基金	22,021,662	(0)	(22,021,662)	(0)
学術奨励基金	17,027,595	(0)	(17,027,595)	(0)
国際学術交流基金	9,649,267	(0)	(9,649,267)	(0)
100周年記念事業特別基金	1,600,000	(0)	(1,600,000)	(0)
合 計	50,298,524	(0)	(50,298,524)	(0)

(3) 正味財産増減計算書(平成26年1月1日から平成26年12月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	21,360,276	21,678,360	△ 318,084
正会員会費	12,305,000	12,660,000	△ 355,000
学生会員会費	1,470,000	1,419,000	51,000
学部生会員会費	7,000	10,000	△ 3,000
外国会員会費	198,276	149,360	48,916
準会員会費	1,980,000	2,040,000	△ 60,000
賛助会員会費	5,400,000	5,400,000	0
会報刊行収益	8,533,576	5,772,689	2,760,887
頒布収益	904,768	348,200	556,568
広告料収益	214,000	243,000	△ 29,000
著者負担金収益	7,414,808	5,181,489	2,233,319
事業収益	16,842,012	14,686,389	2,155,623
大会収益	10,236,225	7,678,250	2,557,975
部会収益	2,322,717	2,977,452	△ 654,735
談話会・研究会収益	3,776,037	3,046,687	729,350
教育プログラム収益	507,033	984,000	△ 476,967
研究成果公開促進費収益	2,500,000	2,600,000	△ 100,000
雑収益	159,910	618,478	△ 458,568
預金利息収益	15,510	24,732	△ 9,222
雑収益	144,400	593,746	△ 449,346
経常収益計	49,395,774	45,355,916	4,039,858
(2) 経常費用			
会報刊行費	21,382,768	20,391,385	991,383
印刷製本費	16,225,336	14,813,346	1,411,990
編集費	5,157,432	5,578,039	△ 420,607
事業費	19,524,053	17,263,143	2,260,910
大会	12,026,225	9,312,000	2,714,225
部会	2,812,875	1,747,867	1,065,008
談話会・研究会	4,234,538	5,462,560	△ 1,228,022
教育プログラム	450,415	740,716	△ 290,301
学術奨励関係費	745,483	723,616	21,867
国際学術交流費	220,507	279,000	△ 58,493
情報電子化費	1,064,370	1,574,500	△ 510,130
HP充実費	420,000	360,000	60,000
情報維持費	644,370	1,214,500	△ 570,130
負担金	483,750	431,250	52,500

JABEE 負担金	50,000	50,000	0
農学会負担金	233,750	131,250	102,500
日本微生物学連盟負担金	100,000	100,000	0
国際植物保護学会負担金	50,000	50,000	0
植物保護科学連合負担金	50,000	100,000	△ 50,000
事業運営費	2, 325, 832	2, 224, 471	101, 361
会議費	778,572	674,691	103,881
旅費交通費	1,427,460	1,496,280	△ 68,820
各種委員会関係費	119,800	53,500	66,300
管理費	4, 917, 344	5, 333, 757	△ 416, 413
通信運搬費	472,763	581,465	△ 108,702
消耗品費	122,845	283,679	△ 160,834
事務管理費	3,334,000	3,310,000	24,000
印刷費	283,440	330,329	△ 46,889
外部監査管理費	131,000	126,000	5,000
雑費	573,296	702,284	△ 128,988
100 周年記念事業支援金	3, 091, 710	367, 100	2, 724, 610
経常費用計	53, 755, 817	48, 588, 222	5, 167, 595
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,360,043	△ 3,232,306	△ 1,127,737
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,360,043	△ 3,232,306	△ 1,127,737
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	△ 4, 360, 043	△ 3, 232, 306	△ 1, 127, 737
一般正味財産期首残高	61, 907, 231	65, 139, 537	△ 3, 232, 306
一般正味財産期末残高	57, 547, 188	61, 907, 231	△ 4, 360, 043
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	57, 547, 188	61, 907, 231	△ 4, 360, 043

(4) 財産目録 (平成 26 年 12 月 31 日現在)

		(単位：円)	
貸借対照表科目		場所・物量等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管		489,761
預金	普通預金		10,018,769
	三井住友銀行白山支店		3,756,907
	三菱東京 UFJ 銀行駒込支店		4,413,157
	ジャパンネット銀行		830,193
	CITIBANK		673,867
	鹿児島銀行		344,645
	部会等預金		3,381,399
振替貯金	ゆうちょ銀行		305,335
未収金	準会員会費		1,051,400
仮払金			1,000,000
総会・大会			1,000,000
流動資産合計			16, 246, 664
(固定資産)			
特定資産			
学術事業安定化基金			22,021,662
	三菱東京 UFJ 銀行駒込支店定期		16,964,269
	三井住友銀行白山支店定期		51,393
	ジャパンネット銀行定期		5,006,000
学術奨励基金			17,027,595
	三井住友銀行白山支店定期		17,027,595
国際学術交流基金			9,649,267
	三井住友銀行白山支店定期		8,446,584
	ジャパンネット銀行定期		1,202,683
100 周年記念事業特別基金			1,600,000
	ジャパンネット銀行定期		1,600,000
固定資産合計			50, 298, 524
資産合計			66, 545, 188
(流動負債)			
前受金			8,998,000
正会員会費			8,465,000
学生会員会費			456,000
学部生会員会費			5,000
外国会員会費			57,000
準会員会費			15,000
流動負債合計			8, 998, 000
負債合計			8, 998, 000
正味財産			57, 547, 188

3. 平成 26 年度会計監査報告

平成 26 年度日本植物病理学会収支決算について、平成 27 年 2 月 2 日に岡田事務所 岡田 茂公認会計士の監査を受け、決算書類が「我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、日本植物病理学会の平成 26 年 12 月 31 日をもって終了する会計年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。」との監査報告書を受けました。その後、学会会計監査の結果、収支決算が確実なることを確認しました。

平成 27 年 2 月 13 日

会計監査

平 塚 和 之 (印)

桑 田 茂 (印)

夏 秋 啓 子 (印)

4. 平成 26 年度学会報編集報告

項 目	ページ数												
	JGPP (英文誌)							日植病報 (和文誌)					
	1 号 1 月	2 号 3 月	3 号 5 月	4 号 7 月	5 号 9 月	6 号 11 月	計	1 号 2 月	2 号 5 月	3 号 8 月	4 号 11 月	特集号 11 月	計
[ページ数内]													
総説	36 (3)	27 (2)	33 (3)	50 (4)	33 (3)	20 (2)	199 (17)	—	—	6 (1)	10 (1)	196 (25)	212 (27)
テクニク	—	—	—	—	7 (1)	4 (1)	11 (2)	—	—	—	—	—	—
原著論文	28 (3)	11 (1)	—	29 (2)	8 (1)	20 (2)	96 (9)	8 (1)	34 (3)	33 (3)	12 (2)	—	87 (9)
短報	24 (4)	37 (6)	60 (6)	4 (1)	31 (5)	—	156 (22)	5 (1)	9 (2)	—	6 (1)	—	20 (4)
病害短信	18 (4)	5 (1)	5 (1)	4 (1)	—	5 (1)	37 (8)	—	—	—	—	—	—
論文総ページ	106 (14)	80 (10)	98 (10)	87 (8)	79 (10)	49 (6)	499 (58)	13 (2)	43 (5)	39 (4)	28 (4)	196 (25)	319 (40)
講演要旨 (会長・受賞者)	—	—	—	—	—	25 (7)	25 (7)	—	—	21 (7)	—	—	21 (7)
講演要旨 (平成 26 年度大会)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	104	—	104
講演要旨 (平成 25 年度部会)	—	—	—	—	—	—	—	62	—	—	—	—	62
本会記事	—	—	—	—	—	—	—	2	—	19	—	—	21
その他	2	—	—	1	1	2	6	3	1	1	4	—	9
計	108 (14)	80 (10)	98 (10)	88 (8)	80 (10)	76 (13)	530 (65)	80 (2)	44 (5)	80 (11)	136 (4)	196 (25)	536 (47)
[ページ数外]													
大会案内・お知らせ	—	—	—	—	—	—	—	10	4	2	8	—	24
会則・規定	—	—	—	—	—	—	—	18	—	—	—	—	18
学会ニュース	—	—	—	—	—	—	—	4	4	15	6	—	29
その他	—	—	2	—	—	—	2	9	7	8	19	6	49
計	0	0	2	0	0	0	2	41	15	25	33	6	120
[総計]	108	80	100	88	80	76	532	121	59	105	169	202	656

* () 内は論文数

II-2. 平成27年度会務案

1. 行事案

- (1) 学会報（英文誌第81巻第1～6号，和文誌第81巻第1～4号）を発行する。
- (2) 大会，部会，談話会，研究会等を開催する。
 - 1) 大会：平成27年3月29～31日 明治大学（千代田区）
 - 2) 北海道部会：平成27年10月15～16日 北海道大学（札幌市）
 - 3) 東北部会：平成27年9月28～29日 東北大学川内キャンパス（仙台市）
 - 4) 関東部会：平成27年9月10～11日 宇都宮大学農学部（宇都宮市）
 - 5) 関西部会：平成27年9月28～30日 徳島県郷土文化会館あわぎんホール（徳島市）
 - 6) 九州部会：平成27年11月11～12日 ホテルセントヒル長崎（長崎市）
 - 7) 第15回植物病原菌類談話会：平成27年3月30日 明治大学（千代田区）
 - 8) 第25回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム：平成27年1月15日 東京農業大学グリーンアカデミーホール

(世田谷区)

- 9) 第11回植物病害診断教育プログラム：平成27年7月27～31日 神戸大学（神戸市）
- 10) 平成27年度植物感染生理談話会：平成27年8月24～26日 道後温泉メルパルク松山（松山市）
- 11) 第9回植物病害診断研究会：平成27年10月26～27日 ALVE 多目的ホール（秋田市）
- 12) EBC 研究会ワークショップ2015（第11回）：平成27年9月15日 JAビル会議室（千代田区）
- 13) 第18回国際植物保護会議：平成27年8月24～27日（ドイツ・ベルリン市）
- (3) 学会賞，学術奨励賞，論文賞等の選考を行う。
- (4) 大会において学生優秀発表賞の選考を行う。
- (5) 名誉会員・永年会員の推挙を行う。
- (6) 平成28年度副会長の選挙を行う。
- (7) 平成28～29年度評議員，会計監査の選挙を行う。
- (8) 日本植物病理学100年史の編纂・発行を行う。
- (9) その他
- ※平成28年度大会：平成28年3月21～23日 岡山コンベンションセンター（岡山市）

2. 平成27年度一般会計予算書（案）（平成27年1月1日から平成27年12月31日まで）

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	21,655,000	21,704,000	△ 49,000
正会員会費収入	12,750,000	12,810,000	△ 60,000
学生会員会費収入	1,300,000	1,250,000	50,000
学部生会員会費収入	10,000	10,000	0
外国会員会費収入	180,000	189,000	△ 9,000
準会員会費収入	1,965,000	1,995,000	△ 30,000
賛助会員会費収入	5,450,000	5,450,000	0
会報刊行収入	8,580,000	8,410,000	170,000
頒布収入	2,400,000	2,750,000	△ 350,000
広告料収入	180,000	160,000	20,000
著者負担金収入	6,000,000	5,500,000	500,000
事業収入	14,300,000	15,371,100	△ 1,071,100
大会収入	7,000,000	8,500,000	△ 1,500,000
部会収入	3,000,000	2,959,100	40,900
談話会・研究会収入	3,500,000	3,112,000	388,000
教育プログラム収入	800,000	800,000	0

研究成果公開促進費収入	2,400,000	2,500,000	△ 100,000
雑収入	165,000	220,000	△ 55,000
預金利息収入	15,000	40,000	△ 25,000
雑収入	150,000	180,000	△ 30,000
事業活動収入計	47,100,000	48,205,100	△ 1,105,100
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	21,400,000	21,000,000	400,000
印刷製本費支出	16,000,000	16,000,000	0
編集費支出	5,400,000	5,000,000	400,000
事業支出	16,980,000	18,436,071	△ 1,456,071
大会支出	8,000,000	9,500,000	△ 1,500,000
部会支出	3,700,000	3,947,100	△ 247,100
談話会・研究会支出	3,980,000	3,688,971	291,029
教育プログラム支出	1,300,000	1,300,000	0
学術奨励関係費支出	800,000	1,330,000	△ 530,000
国際学術交流費支出	380,000	300,000	80,000
情報電子化費支出	1,400,000	1,264,370	135,630
HP 充実費支出	420,000	420,000	0
情報維持費支出	980,000	844,370	135,630
男女共同参画支援費支出	200,000	200,000	0
負担金支出	982,000	682,000	300,000
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
農学会負担金支出	132,000	132,000	0
国際植物病理学会負担金支出	600,000	300,000	300,000
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護学会負担金支出	50,000	50,000	0
植物保護科学連合負担金支出	50,000	50,000	0
事業運営費支出	2,450,000	2,400,000	50,000
会議費支出	800,000	750,000	50,000
旅費交通費支出	1,500,000	1,500,000	0
各種委員会関係費支出	150,000	150,000	0
管理費支出	4,865,000	4,984,000	△ 119,000
通信運搬費支出	450,000	500,000	△ 50,000
消耗品費支出	150,000	200,000	△ 50,000
事務管理費支出	3,365,000	3,334,000	31,000
印刷費支出	250,000	300,000	△ 50,000
外部監査管理費	150,000	150,000	0
雑支出	500,000	500,000	0
100 周年記念事業支援金支出	11,000,000	14,000,000	△ 3,000,000
事業活動支出計	60,457,000	64,596,441	△ 4,139,441
事業活動収支差額	△ 13,357,000	△ 16,391,341	3,034,341

II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	6,200,000	12,600,000	△ 6,400,000
学術事業安定化基金 取崩収入	4,600,000	5,000,000	△ 400,000
100 周年記念事業特別基金取崩収入	1,600,000	7,600,000	△ 6,000,000
投資活動収入計	6,200,000	12,600,000	△ 6,400,000
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	6,200,000	12,600,000	△ 6,400,000
III 財務活動収支の部			
当期収支差額	△ 7,157,000	△ 3,791,341	△ 3,365,659
前期繰越収支差額	7,248,664	4,608,707	2,639,957
次期繰越収支差額	91,664	817,366	△ 725,702

3. 学会報編集計画案

(1) 編集機関

学会誌第 81 巻の編集は、英文誌 (Journal of General Plant Pathology), 和文誌 (日本植物病理学会報 Japanese Journal of Phytopathology) とともに下記のように鹿児島大学に行う。

編集事務局：鹿児島大学農学部

編集委員長：岩井 久 (鹿児島大学)

編集副委員長：大島一里 (佐賀大学)

編集幹事長：中村正幸 (鹿児島大学)

印刷：英文誌 シュプリンガー・ジャパン (株)
和文誌 中西印刷 (株)

発行日：英文誌 1号1月, 2号3月, 3号5月,
4号7月, 5号9月, 6号11月

和文誌 1号2月, 2号5月, 3号8月,
4号11月

(2) 投稿要領

原稿は投稿規定・細則に従って作成し、和文誌については、編集委員長 (〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-24 鹿児島大学農学部 岩井 久) 宛に送付すること。

英文誌については、ウェブサイト <https://www.editorialmanager.com/jgpp/> にアクセスして投稿すること。

平成 27 年度役員および委員

会長 寺岡 徹

副会長 桑田 茂

評議員 (◎常任)

北海道地区 ◎近藤則夫 田中文夫 増田 税
東北地区 ◎吉川信幸 佐野輝男 高橋英樹
古屋廣光

北関東地区 ◎對馬誠也 ◎夏秋知英 渡邊 健
阿久津克己 津田新哉 畔上耕児
月星隆雄 青木孝之

南関東地区 ◎有江 力 ◎難波成任 夏秋啓子
根岸寛光 桑田 茂 濱本 宏
平塚和之 宇垣正志 北 宜裕

中部地区 ◎瀧川雄一 柘植尚志 百町満朗
景山幸二 高松 進 川北一人

近畿地区 ◎相野公孝 奥野哲郎 土佐幸雄
大木 理 久保康之

中国・四国地区 ◎秋光和也 一瀬勇規 曳地康史
西口正通 児玉基一朗 荒瀬 榮

九州地区 ◎土屋健一 大島一里 岩井 久
平八重一之

会長指名 廣岡 卓 長谷川裕 石黒 潔
金山晋治 松永 礼 森田健二
富岡啓介 中島 隆 田代暢哉
高橋賢司

会計監査 夏秋啓子 平塚和之 濱本 宏

原著編集委員 (◎委員長, ○副委員長)

◎岩井 久 ○大島一里 有江 力
Bogdanove, A.J. Coffey, M.D.
藤 晋一 古屋成人

Inoue-Nagata, A.K. 岩波 徹
 Jung, H.-Y. 景山幸二 兼松聡子
 川口 章 小林括平 児玉基一郎
 近藤則夫 Murray, T.D. 中屋敷均
 夏秋知英 大島研郎 Pappu, H.R.
 笹谷孝英 澤田宏之 豊田和弘
 津下誠治 月星隆雄 Walsh, J.A.
 Wirsal, S.G.R. Yun, S.-H. 吉岡博文

賞選考委員 (◎委員長)

◎寺岡 徹 桑田 茂 一瀬勇規
 久保康之 夏秋啓子 土屋健一
 吉川信幸

功績者推薦委員 (◎委員長)

◎奥野哲郎 濱本 宏 寺岡 徹
 津田新哉

選挙管理委員 (◎委員長)

◎平塚和之 濱本 宏 北 宜裕

病名委員 (◎委員長)

◎富岡啓介 阿部恭久 青木孝之
 荒城雅昭 藤 晋一 井上康宏
 石川浩一 岩井 久 大木 理
 門田育生 近藤則夫 窪田昌春
 佐藤豊三 佐橋憲生 佐藤 衛
 菅原 敬 須崎浩一 瀧川雄一
 竹内 純 田中文夫 月星隆雄
 夏秋啓子 森脇丈治 吉田重信

幹 事

庶務幹事長 宇垣正志
 庶務副幹事長 吉田重信
 庶務幹事 松下陽介 越智 直
 会計幹事 前島健作
 副会計幹事 鍵和田聡
 編集幹事長 中村正幸
 編集幹事 福元智博 草場基章 松元 賢
 小川哲治 大貫正俊 大城 篤
 塩谷 浩 田場 聡 竹下 稔
 田代暢哉 富濱 毅 富村健太
 山口純一郎 山崎修一 吉田政博

専門委員会 (◎委員長)

学会ニュース編集委員会

◎高橋賢司 宇垣正志 吉田重信
 松下陽介 宇賀博之

植物ウイルス分類委員会

◎吉川信幸 畑谷達児 岩波 徹

近藤秀樹 難波成任 大木 理
 大島一里 鈴木信弘 津田新哉
 藤 晋一

国際化対応委員会

◎夏秋啓子 宇垣正志 濱本 宏
 曳地康史 近藤則夫 桑田 茂
 佐野輝男 柘植尚志 吉川信幸

将来問題検討委員会

◎難波成任 桑田 茂 吉田重信
 鍵和田聡 相野公孝 濱本 宏
 平塚和之 廣岡 卓 北 宜裕
 中島 隆 柘植尚志 土佐幸雄

教育プログラム推進委員会

◎桑田 茂 濱本 宏 石黒 潔
 石川成寿 小松 健 根岸寛光
 津田新哉 對馬誠也

技術士対応委員会

◎難波成任 吉田重信 鍵和田聡
 濱本 宏 中保一浩 大島研郎
 白石俊昌 山次康幸

5 学会技術士育成推進委員会

◎難波成任 鍵和田聡 濱本 宏
 中保一浩 山次康幸

JABEE 対応委員会

◎濱本 宏 岩井 久 古賀博則
 桑田 茂 増田 税 高橋英樹
 夏秋知英 根岸寛光 大木 理
 大島一里 安戸雅宏 瀧川雄一
 寺岡 徹 土佐幸雄 豊田和弘

男女共同参画学協会連絡会

夏秋啓子

部会長

北海道部会長 眞岡哲夫
 東北部会長 高橋英樹
 関東部会長 夏秋知英
 関西部会長 瀧川雄一
 九州部会長 平八重一之

日本学術会議・日本農学会・国際学会等の委員

日本学術会議会員 (第二部) 上田一郎
 連携会員 白石友紀 夏秋啓子
 植物保護科学連合運営委員会 宇垣正志 夏秋啓子
 鍵和田聡
 日本微生物学連盟副理事長 上田一郎
 日本農学会 評議員 寺岡 徹 桑田 茂

運営委員・常任委員 前島健作
財団法人農学会 農学技術者教育推進委員会
濱本 宏

国際微生物連合 (IUMS)

対応委員 一瀬勇規
プログラム委員 穴戸雅宏
ウイルス分類委員 吉川信幸
細菌命名委員 瀧川雄一

国際植物保護会議 委員 寺岡 徹

国際植物病理学会 (ISPP)

Council Members 寺岡 徹 秋光和也 土屋健一
夏秋知英 高橋英樹

Correspondent for Newsletter 岩井 久

Members of Committee

Bacteriology 土屋健一
Chemical Control 石井英夫
Epidemiology 大藤泰雄
Forest Pathology 鈴木和夫
Fusarium 青木孝之
Phytophthora 東條元昭
Rhizoctonia 荒川征夫
Seed Pathology 加来久敏

Soilborne Plant Pathogens

穴戸雅宏

Taxonomy of Plant Pathogenic Bacteria

瀧川雄一

アジア植物病理学会 (AASPP)

Council Member

曳地康史

平成 27 年度大会運営委員会

大会 委 員 長: 桑田 茂

大会 名 誉 顧 問: 米山勝美

大会 副 委 員 長: 大里修一

プログラム委員長: 森山裕充

プログラム顧問: 寺岡 徹

会 計: 大里修一

総 会 担 当: 小松 健

受 付 責 任 者: 篠原弘亮 前島健作

スライド受付責任者: 根津 修 荒添貴之

学 生 優 秀 賞 担 当: 佐々木信光

運営委員: 荒添貴之 有江 力 井村善之 大島研郎

鍵和田聡 賀来華江 小松 健 佐々木信光 篠原弘亮

澁谷直人 出崎能丈 根津 修 前島健作 山次康幸

(50 音順)

II-3. 会則・規程の改正（案）

改正する事項について、概要を記し、関連する会則・規程を示した。条文の具体的な改正については、新旧対照表に記した。

会則の一部改正

名誉会員および永年会員の総会の承認・議決事項を明確化するための改正。

改 正 後	現 行
会則 第 4 章 総会 第 18 条 次の事項は総会の承認または議決を経なければならない。 (1) (変更なし) (2) (変更なし) (3) 名誉会員および永年会員の <u>推挙</u> 。 (4) (変更なし) (5) (変更なし) (6) (変更なし) 付 則 1. この会則は昭和 33 年 3 月 8 日より施行し、一部改正は昭和 42 年 1 月 1 日，昭和 43 年 9 月 1 日，昭和 45 年 1 月 1 日，昭和 48 年 3 月 26 日，昭和 49 年 4 月 4 日，昭和 50 年 4 月 4 日，昭和 51 年 4 月 6 日，昭和 57 年 4 月 1 日，昭和 61 年 4 月 2 日，平成 6 年 4 月 3 日，平成 7 年 3 月 31 日，平成 10 年 5 月 20 日，平成 11 年 4 月 2 日，平成 12 年 1 月 1 日，平成 13 年 1 月 1 日，平成 14 年 4 月 3 日，平成 15 年 3 月 28 日，平成 18 年 6 月 3 日，平成 18 年 12 月 31 日，平成 19 年 3 月 28 日，平成 23 年 3 月 27 日，平成 24 年 3 月 28 日， <u>平成 27 年 3 月 29 日</u> に行った。 2. この会則の一部改正は <u>平成 27 年 3 月 29 日</u> より施行する。	会則 第 4 章 総会 第 18 条 次の事項は総会の承認または議決を経なければならない。 (1) 事業経過および収支決算。 (2) 事業計画および収支予算。 (3) 名誉会員の <u>推挙</u> および永年会員の <u>推薦</u> 。 (4) 会則の改正。 (5) 役員の選挙に関する規則の改正。 (6) その他必要と認めた事項。 付 則 1. この会則は昭和 33 年 3 月 8 日より施行し、一部改正は昭和 42 年 1 月 1 日，昭和 43 年 9 月 1 日，昭和 45 年 1 月 1 日，昭和 48 年 3 月 26 日，昭和 49 年 4 月 4 日，昭和 50 年 4 月 4 日，昭和 51 年 4 月 6 日，昭和 57 年 4 月 1 日，昭和 61 年 4 月 2 日，平成 6 年 4 月 3 日，平成 7 年 3 月 31 日，平成 10 年 5 月 20 日，平成 11 年 4 月 2 日，平成 12 年 1 月 1 日，平成 13 年 1 月 1 日，平成 14 年 4 月 3 日，平成 15 年 3 月 28 日，平成 18 年 6 月 3 日，平成 18 年 12 月 31 日，平成 19 年 3 月 28 日，平成 23 年 3 月 27 日，平成 24 年 3 月 28 日に行った。 2. この会則の一部改正は <u>平成 24 年 3 月 28 日</u> より施行する。ただし，第 2 章第 5 条，第 6 条および第 10 条の一部改正は平成 25 年 1 月 1 日より施行する。

評議員選挙施行細則の一部改正

評議員選挙を電子投票で行うための改正。全文を掲載。

改 正 後	現 行
評議員選挙施行細則 第 1 条 (変更なし) 第 2 条 (変更なし) 第 3 条 任期満了年度の 8 月末までに，選挙管理委員会は，会報（和文誌）等に選挙の実施を告示し，選挙は任期満了年度の 9 月 1 日付をもって有権者名簿を作成し 10 月に行う。	評議員選挙施行細則 第 1 条 会則第 11 条第 3 項に基づき評議員選挙施行細則を次のように定める。 第 2 条 選挙は次に定める 8 地区に分け地区ごとに評議員定数を決定して行う。総数 45 名以内とし，地区ごとの定数は各地区の正会員と学生会員の総数に比例させる。なお，正会員と学生会員の所属地区は原則としてその所属する機関の所在地とし，これがない場合には現住所とする。北海道地区（北海道），東北地区（青森，岩手，宮城，秋田，福島，山形），北関東地区（茨城，埼玉，栃木，群馬，新潟），南関東地区（東京，千葉，神奈川，山梨），中部地区（富山，石川，福井，長野，岐阜，静岡，愛知，三重），近畿地区（滋賀，京都，大阪，兵庫，奈良，和歌山），中国四国地区（鳥取，島根，岡山，広島，山口，徳島，愛媛，香川，高知），九州地区（福岡，佐賀，長崎，熊本，大分，宮崎，鹿児島，沖縄） 第 3 条 選挙は任期満了年度の 9 月 1 日付をもって有権者名簿を作成し 10 月に行う。

第4条	正会員であっても選挙施行年度内に年齢が66歳以上に達する者は被選挙権を有しない。	第4条	正会員であっても選挙施行年度内に年齢が66歳以上に達するものは被選挙権を有しない。
第5条	正会員および学生会員であっても9月1日現在で選挙施行年度までの会費を滞納している者は選挙権および被選挙権を失う。	第5条	正会員および学生会員であっても選挙施行年度までの会費を納入していないものは選挙権および被選挙権を失う。
第6条	(変更なし)	第6条	評議員は有権者が所属する地区から、その地区の評議員定数の連記無記名投票によりこれを選出する。
第7条	投票は電子投票により以下の要領で行う。電子投票を行えない場合は、副会長選挙施行細則第3条に準じ、郵送投票とする。 (1) 電子投票は、インターネットを通じて、会員に割り振られた会員番号及びパスワードにより電子投票システムに接続して行う。接続は、各会員が所持するインターネット接続機器を用いる。インターネット接続にかかる費用は会員の負担とする。 (2) 有権者名簿は、インターネット上の会員限定のページに掲示する。 (3) 投票は、画面上に表示される候補者一覧から、投票者が所属する地区の評議員定数以内の候補者を選択する方法で行う。 (4) 投票内容は、集計用のサーバーに送信される。投票後の取り消しまたは修正は認めない。また、投票内容の確認には応じない。 (5) 投票内容は投票者が特定できないように保存され、投票期間終了後、選挙区ごとの得票数を集計したデータは選挙管理委員会が管理する。 (6) 選挙告示から投票開始日までに会員から電子投票を行えない旨の申し出があった場合は、副会長選挙施行細則第3条に準じ、本会から送付した所定の投票用紙ならびに封筒を用いた郵送投票とする。この場合も、投票期日は電子投票と同日(必着)とする。	第7条	副会長選挙施行細則第3条に準ずる。
第8条	(変更なし)	第8条	下記の投票は無効とする。 (1) 第5条に違反したもの。 (2) 第6条に違反したもの。ただし評議員定数に満たない投票は有効とする。 (3) 副会長選挙施行細則第4条第3項および第4項に準ずる。
第9条	電子投票と郵送投票で得られた票数を合計したものを得票数とし、当選は高点者より順次決定し、同点の場合は年長者をとる。	第9条	当選は高点者より順次決定し、同点の場合は年長者をとる。
第10条	(変更なし)	第10条	副会長選挙施行細則第7条に準ずる。
第11条	(変更なし)	第11条	副会長選挙施行細則第8条に準ずる。
第12条	(変更なし)	第12条	評議員は、健康上の理由その他特別の事情により任を辞した場合、および地区選出評議員が異動等により他地区へ転出した場合、欠員となる。 2. 任期中に他選挙区へ転出した評議員は会長指名評議員として任を受け、その任期は残任期間とする。
第13条	(変更なし)	第13条	評議員に欠員を生じた場合、その所属地区の次点者をもって補充する。
付 則		付 則	
1.	この細則は昭和34年3月30日より施行し、一部改正は昭和40年4月1日、昭和43年6月1日、昭和58年3月27日、平成6年4月3日、平成14年4月3日、平成24年3月28日、平成27年3月29日に行った。	1.	この細則は昭和34年3月30日より施行し、一部改正は昭和40年4月1日、昭和43年6月1日、昭和58年3月27日、平成6年4月3日、平成14年4月3日、平成24年3月28日に行った。
2.	この細則の一部改正は平成27年3月29日より施行する。	2.	この細則の一部改正は平成24年3月28日より施行する。

III. 平成 27 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録

日 時：平成 27 年 3 月 11 日（水）15 時 00 分～16 時 00 分

場 所：東京大学弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

出席者：三輪睿太郎会長，會田勝美副会長，西澤直子副会長，峯 洋子（園芸），矢部和弘（シス農），松下範久（樹医），岡田憲典（植調），大貫靖浩（森立），岩田洋佳（育種），徳安 健（応糖科），野村昌史（応動昆），矢沢勇樹（海水），太田能之（家禽），山田隆一（国地開），磯部勝孝（作物（代）），勝間 進（蚕糸），黒川俊二（雑草（代）），前島健作（植病），正木 隆（森林），高田健太郎（水産（代）），塩出大輔（水工），安永円理子（生環），大黒俊哉（造園／農計），山内啓太郎（畜産），野村こう（動遺育），大塚重人（土肥），坂本一憲（土微），小原廣幸（熱農），千田雅之（経営），仲下英雄（農薬），杉浦幸二（繁殖），大倉利明（ペドロ），秋山拓也（木材（代）），青木謙治（木加工／木質（代）），牧野義雄（農食工），荒木徹也（農施），中村典裕（農情），吉田修一郎（農村工），黒住圭子（事務担当）

欠席者：土田志郎（実農），吉本 敦（森計），山田 智（砂丘），高橋新平（芝草），金井克晃（獣医），石川尚人（草地），横山 仁（気象），福与徳文（農経），渡邊秀典（農化），林 久喜（農作），小林弘明（フード），八巻一成（林経）

議長：三輪会長

進行：矢沢常任委員

議事

1. 役員交代について

三輪会長挨拶の後，矢沢庶務担当常任委員より資料訂正の説明後，今年の常任委員 6 名について紹介があった。

庶務担当：矢沢勇樹・牧野義雄，会計担当：太田能之・前島健作，企画担当：山田隆一・野村昌史

2. 平成 26 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について

矢沢庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

3. 平成 27 年度第 1 回日本農学会評議員会報告

- ・矢沢庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった。
- ・太田会計担当常任委員より平成 26 年度収支計算書，平成 27 年度収支予算書について報告があった。
- ・矢沢庶務担当常任委員から日本農学賞，読売農学賞の決定の報告があった。

4. 平成 27 年度（第 86 回）日本農学大会準備状況

- ・矢沢庶務担当常任委員より資料に基づき 4 月 5 日の日本農学会プログラム等の説明があり了承された。
- ・受賞者所属学会以外の学協会からも参加していただきたい旨お願いがあった。

5. 平成 27 年度シンポジウム準備状況

- ・山田企画担当常任委員より直前の企画委員会での決定事項をふまえて説明があった。タイトルは「国際土壌年 2015 と農学研究—社会と命と環境をつなぐ—」と決定。講演者のタイトルは今後若干の変更がある旨説明があった。講演順の変更についても説明があった。
- ・日本植物病理学会からは對馬誠也氏が「土壌 DNA 診断を活用した新しい土壌病害管理」のタイトルで講演予定。

6. 出版関連準備状況

山田企画担当常任委員より資料に基づき説明あった。

7. 平成 28 年度シンポジウムテーマ募集について

野村企画担当常任委員より資料に基づき例年に通りにシンポジウムテーマ募集について説明があった。

8. その他

- ・三輪会長より，4 月 5 日に開催される日本農学大会および 10 月 3 日に開催される日本農学会シンポジウムへの参加のお願いがあった。
- ・平成 27 年度第 2 回運営委員会は平成 27 年 9 月 4 日（金）15 時からを予定
- ・平成 28 年度評議員会は平成 28 年 1 月 22 日（金）を予定